

株式の状況 & 会社概要

(2019年3月31日現在)

● Stock Information & Corporate Profile

● 株式および株主の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	125,291,112株
株主数	7,789名

● 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,749	8.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	7,353	5.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,859	4.68
株式会社伊予銀行	5,329	4.25
株式会社愛媛銀行	5,017	4.00
ミウラグループ従業員持株会	4,035	3.22
愛媛県	3,000	2.39
公益財団法人三浦教育振興財団	3,000	2.39
いよぎんリース株式会社	2,906	2.32
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,859	2.28

(注) 1. 当社は、自己株式12,717千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記の大株主から除外しております。
2. 出資比率は、発行済株式の総数に対する持株数の割合を表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎ 0120-782-031
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

● 会社概要

社名	三浦工業株式会社
設立	1959年5月1日
資本金	9,544,007,333円
本社	〒799-2696 愛媛県松山市堀江町7番地 TEL (089) 979-7045 (経営企画室)

● 役員の状況 (2019年6月27日現在)

取締役会長 高橋 祐二	取締役 米田 剛
代表取締役社長執行役員CEO 宮内 大介	社外取締役 樋口 建史
代表取締役副社長執行役員COO 西原 正勝	取締役 原田 俊秀
代表取締役専務執行役員 武知 教之	社外取締役 山本 卓也
取締役 森松 隆史	社外取締役 佐伯 直輝
取締役 児島 好宏	社外取締役 安藤 吉昭

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。
【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができないときは、日本経済新聞に掲載。
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部



証券コード：6005

世界へ、未来へ、+!を。

その技術に、愛はあるか。

その商品に、愛はあるか。

そのサービスに、愛はあるか。

いつも自分に問いかけること。

ミウラは、そうやって生まれてくる。

そのひらめきに、愛はあるか。



熱・水・環境のベストパートナー

MIURA

IR REPORT

第61期 株主通信

2018年4月1日～2019年3月31日



平素は格別のご支援、お引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
ミウラグループは設立60周年を迎えました。ここまで支え、応援してくださった株主様はじめすべてのステークホルダーの皆さまに、深く感謝申し上げます。
ミウラグループには、「世界一安くて良いボイラを創ろう」という創業者三浦保のひたむきに夢を追いかける姿勢が今も脈々と息づいています。これからも、世界中のお客様に愛され、信頼される環境貢献企業を目指し、企業理念の「熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、きれいで快適な生活の創造に貢献します」の実現に努めてまいります。
株主の皆さまにおかれましては、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第61期決算の事業の概況

当期の概況につきましては、国内においては、主力の小型貫流ボイラやランドリー事業が堅調な設備投資に支えられて好調に推移しました。舶用機器においてもパラスト水処理装置の売上が堅調に推移し、メンテナンス事業も増収になりました。海外においては、各国での環境施策方針にあわせた営業活動によりボイラ販売が好調に推移し、積極的な保守契約取得活動により、メンテナンス事業も増収になりました。
利益面は、人件費や設備投資による減価償却費、研究費が増加しましたが、増収効果により増益となりました。
売上収益は138,880百万円(前期比11.2%増)、営業利益は

16,682百万円(前期比20.3%増)、税引前利益は17,130百万円(前期比20.8%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は12,280百万円(前期比18.5%増)とそれぞれ過去最高を更新しました。

ミウラグループの経営方針

ミウラグループは、「熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、きれいで快適な生活の創造に貢献します」を企業理念に掲げ、その実現のため、エネルギーの有効利用や環境関連の分野で有用な製品やサービスを独自の技術力で創出し、世界のお客様のお役に立つことを目指しております。
その上で、企業価値の最大化を目指して透明性や効率性の高い経営に努め、株主をはじめとするステークホルダーの皆さまの期待と信頼にお応えするとともに、健全な成長を図って企業の社会的責任を果たしてまいりたいと考えております。
さらに、ミウラグループは、「我々はわが社を最も働きがいのある、最も働きやすい職場にしよう」をモットーに信頼・連帯感・誇りで結ばれる風通しの良い職場の実現を目指し、働きがいのある企業風土づくりや人材育成などに取り組み、成長し続けるための基盤強化を図ってまいります。

2018年度の振り返りと ローリング(事業環境を考慮した見直し)

2018年度の売上実績は、中国が米中貿易摩擦や環境規制緩和の影響などで減速感はありませんでしたが、企業の堅調な設備投資により主力の小型貫流ボイラ、ランドリー機器が好調に推移したことにより計画を達成しました。
今後の見通しについては、国内は、設備投資動向には不透明感がみられますが、「トータルソリューション」提案活動の強化により継続的な成長を見込んでおります。海外においても、中国での環境規制の強化や国内で培ったビジネスモデルを展開して、継続的な成長を見込んでおります。

愛とひらめきミウラフェア

ミウラグループは今年設立60周年を迎えます。そこで全国5カ所(東京・大阪・名古屋・仙台・福岡)で愛とひらめきミウラフェアを開催いたします。設立60周年を迎えるミウラの歴史から、さまざまな製品・サービスの国内外への展開、最新技術まで、たくさんの愛とひらめきあふれるトータルソリューションをご紹介します。

財務ハイライト (IFRS)

ここが
POINT

1

過去最高の売上・利益を達成
国内各事業、海外ボイラ販売ともに堅調

2

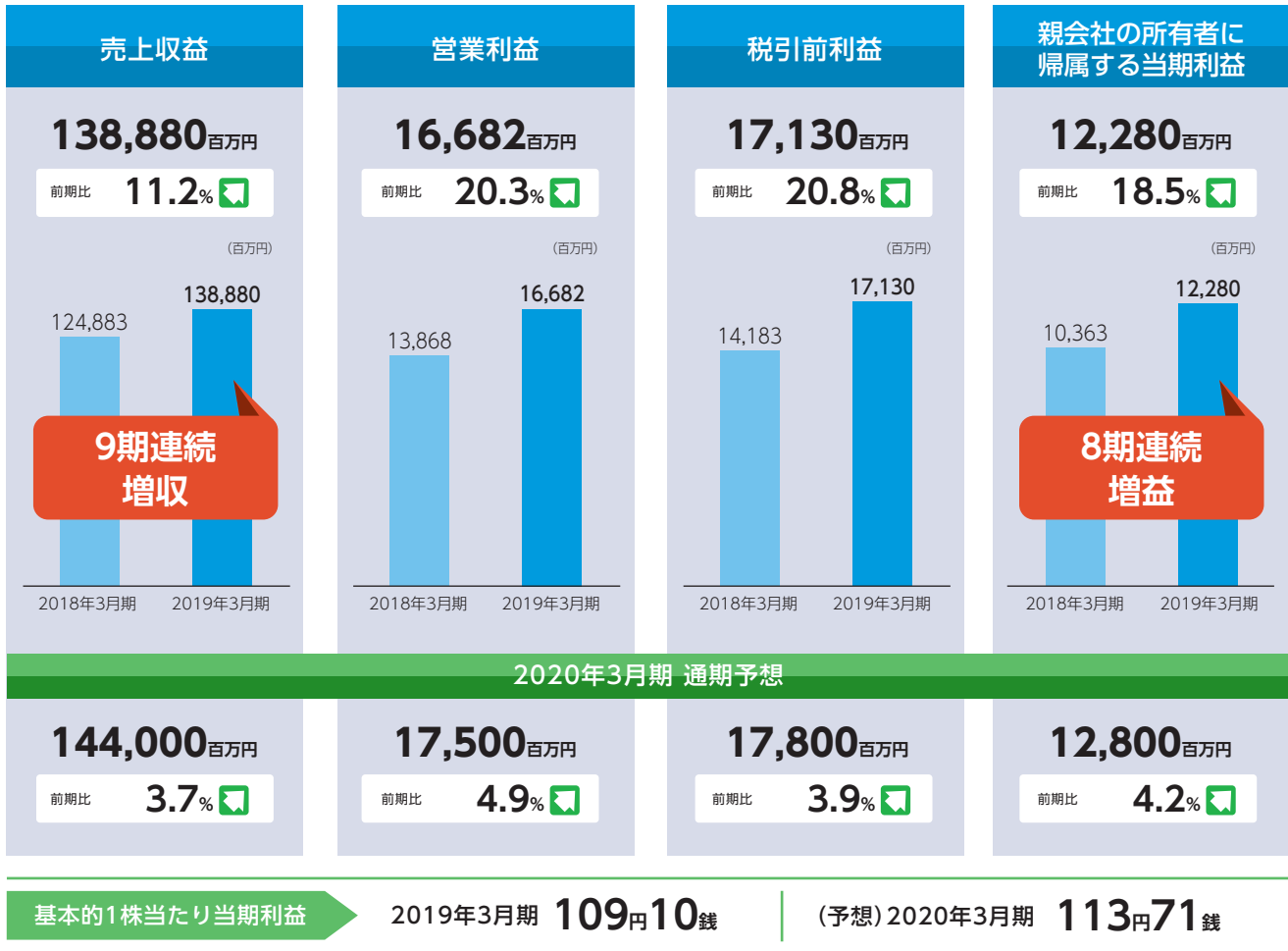
国内ランドリー事業は過去最高の業績を達成
インバウンド需要と省力化、自動化への顧客ニーズ

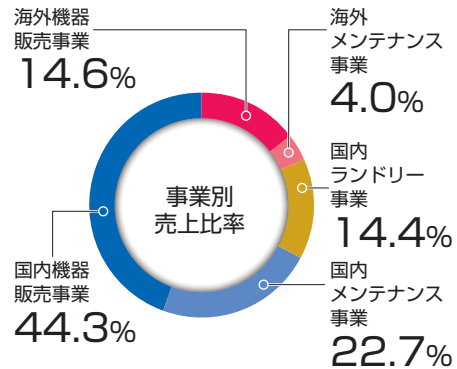
3

海外は各国・地域で堅調
省エネ・環境負荷低減提案営業によるボイラ販売好調

4

メンテナンス事業は国内外とも堅調
ボイラ設置台数の増加、積極的な有償保守契約取得





業績について

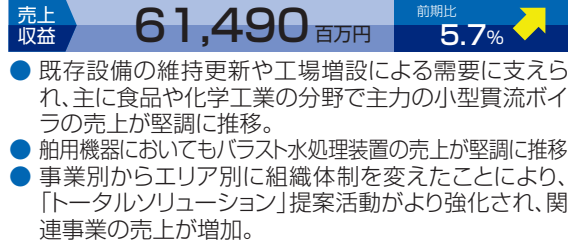


- 国内は、主力の小型貫流ボイラやランドリー事業が堅調な設備投資に支えられ好調に推移。
- 海外は、省エネルギー・環境負荷低減を基本としたソリューション提案営業によりボイラ販売が好調に推移。

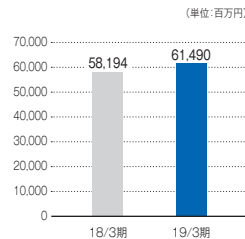


- 人件費や設備投資による減価償却費、研究費が増加したが、増収効果により増益。

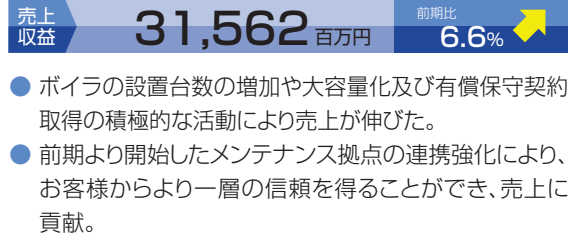
国内機器販売事業



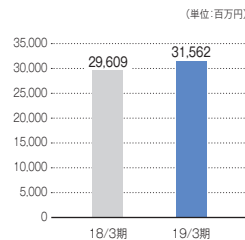
- 既存設備の維持更新や工場増設による需要に支えられ、主に食品や化学工業の分野で主力の小型貫流ボイラの売上が堅調に推移。
- 船用機器においてもバラスト水処理装置の売上が堅調に推移。
- 事業別からエリア別に組織体制を変えたことにより、「トータルソリューション」提案活動がより強化され、関連事業の売上が増加。



国内メンテナンス事業



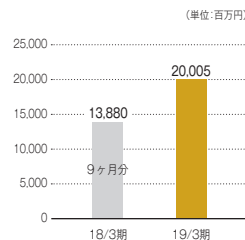
- ボイラの設置台数の増加や大容量化及び有償保守契約取得の積極的な活動により売上が伸びた。
- 前期より開始したメンテナンス拠点の連携強化により、お客様からより一層の信頼を得ることができ、売上に貢献。



国内ランドリー事業

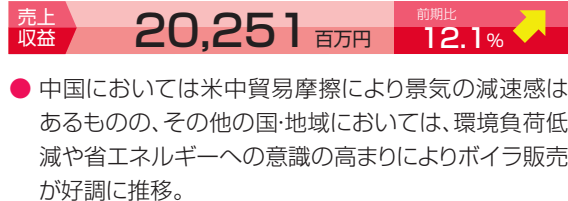


- 主力製品である連続式洗濯機をはじめ、その周辺機器の売上也好調に推移。

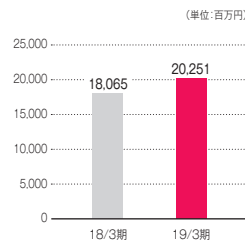


(注) 当事業は、前第2四半期より新たに追加したため、前期比については、記載を省略しています。

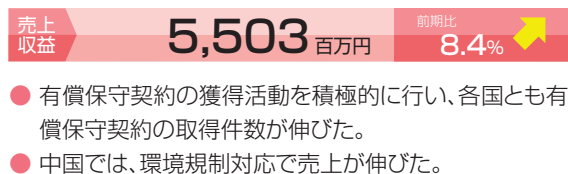
海外機器販売事業



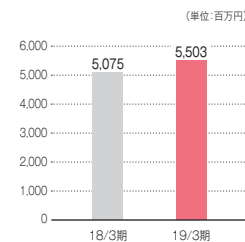
- 中国においては米中貿易摩擦により景気の減速感はあるものの、その他の国・地域においては、環境負荷低減や省エネルギーへの意識の高まりによりボイラ販売が好調に推移。



海外メンテナンス事業



- 有償保守契約の獲得活動を積極的に行い、各国とも有償保守契約の取得件数が伸びた。
- 中国では、環境規制対応で売上が伸びた。



中期経営計画

ミウラグループの中期経営計画は、3年先のありたい姿を次年度の経営計画に反映いたします。3年間という時間軸は設けますが、3年間固定するという意味ではなく、世界情勢や事業環境の変化等を考慮し、每期計画を更新・見直しする「ローリング方式」を採用しています。

数値目標

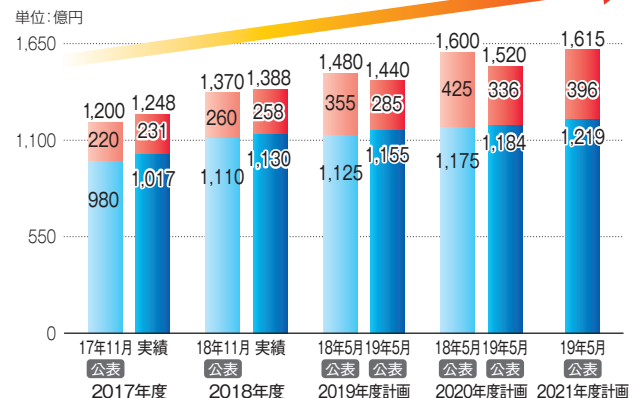
	2018年度実績	2019年度計画	2020年度計画	2021年度計画
売上収益	1,388	1,440	1,520	1,615
営業利益	166	175	185	195
営業利益率	12.0%	12.2%	12.2%	12.1%

(単位: 億円)

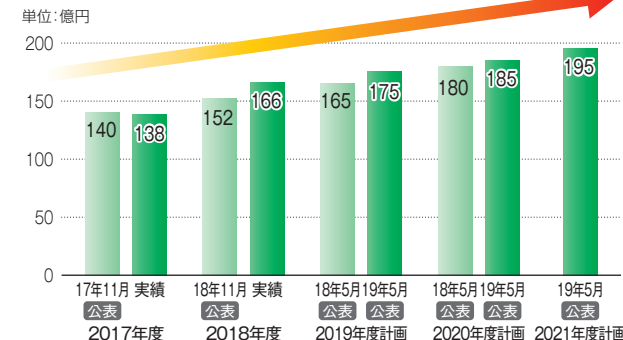
為替 (平均レート)	2017年度	2018年度	増減率	2019年度計画	増減率
USD	110.85	110.92	0.1%	109.00	-1.7%
元	16.74	16.54	-1.2%	15.80	-4.5%
WON (100W)	10.00	9.98	-0.2%	9.80	-1.8%

国内: 継続的な成長を維持
海外: 中国の減速による影響

売上収益



営業利益



軟水で
ラクラクお掃除 & スキンケア
快適生活ははじめませんか?

水道水使用
(築8年)
の浴室

水まわり
清潔

浴室の汚れや
カビ汚れの要因
石けんカスを抑え

より清潔な
水まわりへ

家事ラク

汚れが減って
水まわりの
お掃除ラクチン

らくらく
スキンケア

石けんカスの
生成を抑え
お肌にやさしい

ミウラの家庭用軟水器



軟太郎
ソフトーナ®

ずっと快適な
軟水生活
もっとしあわせ

詳しくは、ホームページをご覧ください。

ミウラの軟水

検索

<http://www.nansui.jp>

………… 三浦工業は2019年5月1日に設立60周年を迎えました。…………

60th 世界へ、未来へ、+iを。

おかげさまでミウラは設立60周年を迎えました。皆さまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

ミウラには、社員一人ひとりの「ひらめき」を何よりも大切に、そのひらめきに「愛」をこめる事ができる人であろうとするDNAが根付いています。その思いは「!=ひらめき」と「i=愛」を合わせてデザインされたコーポレートマーク **MiURA** の **i** の文字にも込められています。私たちは、「ミウラ」が、これからも愛され、信頼されるブランドになるために日々の業務の中で「そのひらめきに、愛はあるか。」を自分自身に問いかけ続けます。ミウラの今後の取り組みにご期待いただきますとともに、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

60周年記念ロゴのコンセプトは「愛とひらめき」

2018年10月からスタートした新ブランディング広告「そのひらめきに、愛はあるか。」のキャラクターとして登場する「あいくん」は、人(i)とひらめき(!)の象徴です。今回の60周年ロゴマークは「あいくん」のイメージと「そのひらめきに、愛はあるか。」をシンボル化させた「+i」のアイコンを組み合わせで作成しました。

ミウラ60年の歴史の中でさまざまな技術・製品・サービスの提供を国内のみならず、海外にも展開してきました。今後はグローバル化により一層力を入れることはもちろん、未来も見据えた事業展開を100年企業の実現に向けて私たちミウラグループ社員全員の「愛とひらめき」を皆さまにお届けします。



あいくん

昔も今も、「ひらめき」と「愛」がミウラグループの原動力です。

60周年という記念すべき年。5,000名超という大きな家族になった今、これからもミウラが社会から愛される特別なブランドであり続けられるように、「一人ひとりの+i」というテーマで、社会貢献していることや一人ひとりが心がけている「ひらめき」と「愛」の言葉を集めカタチにしました。



こちらの内容の詳細は60周年記念特設サイトにてご紹介しております。
ミウラの60年の歩みを是非ご確認ください。

<https://www.miuraz.co.jp/60th/>

